



# 北中だより



<http://nk-kitanaka-j.la.coocan.jp/>

中野区立北中野中学校

## ★ なぜ運動会があるのか…

校長 津村 慶

4年ぶりに全校生徒が一堂に会する運動会が行われます。他学年の競技を、教室の窓からではなく、同じ校庭で応援することができます。先輩の力強い走りやダイナミックな演技は来年、再来年の目標になるはずです。また、後輩たちの頑張りを見守りながら、1年前、2年前の自分たちと重ねることで中学校生活における成長を実感できるかもしれません。また今年は、3つの学年がそれぞれ4クラスずつですので、クラスカラーごとの色別対決にも熱が入ります。同じ色の先輩、後輩を応援する中で、学年を超えた絆が生まれることも楽しみです。すべての学年にとって初めてとなる全校開催での運動会が大いに盛り上がることを期待しています。

運動会は35人以上いるクラスの仲間が協力して1つの目標に向かって取り組んでいく行事です。朝練習や学年練習、体育の授業を通して練習を重ねる中で、意見がぶつかったり、仲間に不満をもったりするような場面もあるでしょう。時にはクラスが分裂して、気持ちがバラバラになってしまうこともあるかもしれませんし、仲間のことを信じられなくなることもあるかもしれません。

しかし、もしもクラスの35人全員が自分と同じような人だったとしたら、そのクラスは確実に目標を達成できるのでしょうか。さまざまな種目がある運動会で、いくつかの競技では良い結果が残せても、他の種目では思うような結果にならず、最終的には満足する結果にはならないはずです。また、同じような考え方の人ばかりでは、新しい発想や、思いもよらないアイデアは出にくく、問題が起きて上手く乗り越えることは難しいでしょう。

クラスにはいろいろな人がいます。足の速い人、力の強い人、長い距離を走るのが得意な人、バランス感覚に優れている人、他人と息を合わせるのが上手なりズム感のある人、みんなをやる気にさせてくれる声掛けができる人など、それぞれが持っている力や得意な分野はみんな違います。一人の力で得られる成果には限界がありますが、35人が集まって力を合わせれば35倍の成果が出せます。さらに人数が増えれば、得られる成果もどんどん大きくなる。仲間と協力して何かに取り組むということには、無限の可能性があるので

同じ目標に向かって、気持ちを一つにして取り組んでいく。その中で仲間の良いところを生かし、自分もできる限りの事をして貢献する。そうすることで目標を達成できる確率は格段に高まります。もしも運が悪く目標を達成できなかったとしても、仲間と協力して努力した先には、目標達成以上の素晴らしいものが待っています。

一人では到底できないことを仲間と協力して成し遂げる。その経験は、これからの皆さんの人生において長く社会で活躍していくために必要なものであり、予測不能なこれからの社会を生き抜いていくために最も重要なスキル（能力）であると言われています。

部活動が盛んな北中では、すでに各部の活動でこのような経験をしていると思いますが、クラスの仲間との関係においても、行事を通して協力・協調・団結していくことで、より柔軟な力を身につけてほしいと思っています。今年の運動会が、すべての生徒にとって充実感と達成感のある運動会になることを期待しています。

## 校外学習・高尾山ハイキング実施

4月21日、1年生が学年の親睦を深めるための校外学習に出かけました。数日前まで天気予報は雨でしたが直前で晴天に変わり、朝から気持ちの良い青空が広がりました。集合時刻よりも早めに登校する生徒が多く、ゆとりをもって行動する意識の高さを感じられました。他学年の先生方が見送ってくれる中、バスで高尾山へ。車内でも話し声や笑いが絶えず、仲の良い雰囲気が印象的でした。

高尾山駐車場に到着しトイレを済ませた後、9時50分から登山開始。事前下見に行った牛尾先生のB組を先頭にクラスごとに列を作って登山道を歩き始めました。前半は傾斜の急な坂道が続き、登り始めこそ元気だった1年生も、予想以上にきつい坂道に悲鳴を上げていました。「まじ、キツイ」「チョー疲れる」「もう無理、足パンパン」などと言いながらも休憩を取りつつ何とか頑張り、40分ほどかけてケーブルカー終着駅の高さまで登りました。そこからは尾根伝いに緩やかな傾斜のハイキングコースに変わります。気持ちが折れそうだった生徒も元気を取り戻し、木陰の続く爽やかな山道を楽しみながら頂上を目指しました。途中、薬王院の境内を抜けるあたりで150段ほどの階段が続きましたが、スタートから約2時間、全員がリタイヤすることなく頂上に到着しました。

頂上は麓よりも少し気温が低く、陽射しの温かさが調度よく感じられる気候でした。グループごとにレジャーシートを敷いて昼食を食べた後、復路はケーブルカーの混雑が予想されたため、予定よりも20分早く頂上を出発。ジェットコースターのような急斜面を下っていくケーブルカーに歓声を上げながら下山しました。帰りのバスは疲れでウトウトする生徒が多い静かな車内でしたが、新しいクラスの仲間との距離が縮まった校外学習でした。



## 離任式で久しぶりに先生方に合うことができました!

3月末で本校を去られた教職員の中から、栗原副校長先生、櫻井先生、村野先生、松本先生、山本先生、板垣先生にお越しいただいて4月28日に離任式を行いました。学級担任や教科の授業、部活動や委員会活動でお世話になった生徒の中から代表者2名が、お礼の作文を読みあげ花束を渡しました。「私たちがいつも明るく元気づけてくれました。」「やさしく声を掛けてくださったことを今でも覚えています。」「先生に教えてもらったことは忘れません。」など、それぞれの先生への感謝の気持ちが素直に伝えられ、中には作文を読みながら涙ぐむ生徒や感極まってなかなか言葉が出ない生徒もいて、目頭が熱くなりました。大好きだった先生方との別れは寂しいですが、別れと出会いを重ねていくことで私たちは成長し、人としての厚みが生まれていきます。お世話になったことへの感謝の気持ちは、その人から教わったことを忘れずにいつまでも実践していくことで、その恩に応えることができます。北中を去られた先生方との思い出を大切にしながら、新しい生活を頑張っていきましょう。



## 3年生が話すこと調査にチャレンジ!!

5月8日(月)、3年生で文部科学省が行う全国学力・学習状況調査の英語・話すこと調査を実施しました。平成31年度の同調査で初めて取り入れられた調査ですが、令和2年度はコロナ禍のために中止、令和3・4年度は英語以外の教科の実施でしたので、英語の話すこと調査は2度目となります。

インターネットの接続状況を考え、1クラスずつ時間を変えて実施し、念のために教室も3箇所に分散して行いました。iPadで所定のページにアクセスし、個人IDと認証番号を入力して調査を始めました。絵を見ながら放送される英語を聞いた後で、指示や質問に対して英語で話すと音声録音される調査です。4年前の第1回では、1問1答の基本的なQ&Aから、友達と先生の会話を聞いた後で流れに沿って質問をする問題、最後はテレビ局の取材に答えるシチュエーションで将来の夢とそれを実現させるために努力していることを30秒間で話すというものでした。今回の調査は形式や問題数はほぼ同じでしたが、より自然な会話の中でのやりとりになっていることや、最後の問題の難易度は少し高くなっていました。

今年度の調査問題や正答例、解説は5月26日の夕方に国立教育政策研究所のHPに掲載されるので確認してみてください。



## 生徒の手による学校づくりを生徒総会で…

「響栄～Do my best for 北中～」をスローガンに掲げて活動してきた現生徒会による生徒総会が開催されました。生徒会本部役員会や各専門委員会への質疑応答では、事前に準備されたもの以外にも、その場での話合いから生まれた新たな質問や要望も出されました。意見を言う一般会員生徒と、それに答える委員会代表生徒による真剣なやりとりはとても価値のあるものでした。また通常の議事を行った後には、前回に引き続いて今回も校則の改変について討議が行われました。手持ち扇風機の許可や登下校時の帽子の着用、体育着での下校やセーター登校の他、再登校や髪型に関するルールの見直し、女子の制服にネクタイを取り入れるなど、生徒から提案された様々な事柄について話し合われました。その場で結論に至らなかった内容については、後日、生徒会本部役員会や中央委員会で話し合いを重ねた上で学校生活に反映されます。

「Do my best for 北中」というサブ・スローガンどおり、生徒一人ひとりが自分たちの学校生活について真剣に考え、話し合った充実した生徒総会でした。



## 保護者の皆様へお知らせ

### 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルス感染症が5月8日付けで「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における5類感染症に移行したことにもない、これまで行ってきた対応を以下のように変えていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、ご質問やご心配な点がございましたら、いつでも学校にご連絡ください。

#### 【マスクの着脱および健康状態の確認について】

- ◆学校生活においては、マスクの着用を求めないことを基本とします。
- ◆基礎疾患がある生徒がいることや、ご家庭の様々な事情があることから、学校がマスクの着脱を強いることがないようにし、生徒が自分の意思でマスクの着脱を判断することとします。  
(生徒間で差別や偏見、仲間はずれ等が起きないように、引き続き指導していきます。)
- ◆これまで行ってきた朝の検温と健康カードによる体調確認は終わりとし、口頭での健康状態の確認で代替していきます。(5月23日から切り替えます。)
- ◆定期的な換気、手洗いと手指消毒の励行、咳エチケットの指導は継続します。

#### 【出席停止の扱いや濃厚接触について】

- ◆病院で行う検査で新型コロナウイルス感染症の陽性と診断された場合のみ出席停止の扱いとし、それ以外の発熱や咽頭痛、咳等の症状は**通常の欠席の扱い**となります。
- ◆生徒本人が新型コロナウイルス感染症に感染した場合、インフルエンザと同様に**「発症した翌日から5日を経過し、かつ症状が快然した後1日を過ぎるまで」**が出席停止期間となります。
- ◆出席停止期間が明けて登校を再開する際には陰性証明等の書類の提出は必要ありません。
- ◆濃厚接触者の特定を行わないため、同居するご家族に新型コロナウイルス感染症に感染した方がいても、生徒本人に感染を疑う症状がなく健康である場合には自宅待機の必要はありません。

#### 【給食時の対応について】

- ◆給食時の食事体系をコロナ前のグループ形式に戻し、「黙食」については大きな声での会話は控える指導に変えます。(5月23日から切り替えます。)
- ◆廊下での配膳、給食前後の手洗い指導は継続します。

### 別室登校支援室の運用開始のお知らせ

集団生活を送ることが難しい生徒や、事情により一時的に教室にいられない生徒のための別室登校支援室「SSR (Small Step Room)」を5月から校内に開設しました。SSRでは在籍学級の授業をオンラインで受ける他に、授業で配布する課題に個人のペースで取り組んだり、自分で用意した課題に取り組んだりすることができます。詳しくは5月23日付で配布する案内文書をご覧ください。また、利用についてのお問い合わせは学級担任や各学年の教員にご連絡ください。

- 【別室登校支援員の紹介】
- |          |           |
|----------|-----------|
| 義若 美聖 さん | (月・火・木・金) |
| 小池 多恵 さん | (火・水・木・金) |